

製品名: CBX4 (10P4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08056**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50,IF-P 1:100-1:200
分子量	61kDa

抗原情報

遺伝子名	CBX4
別名	CBX4; hPc2; NBP16; PC2;
遺伝子 ID	8535.0
SwissProt ID	O00257
免疫原	ヒト CBX4 の合成ペプチド

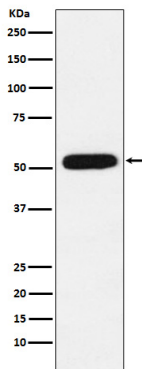
背景

E3 SUMO タンパク質リガーゼは、UBE2I による SUMO1 の結合を促進する。ポリコームグループ (PcG) 多タンパク質 PRC1 複合体の構成要素であり、この複合体は、Hox 遺伝子を含む多くの遺伝子の転写抑制状態を発生過程を通して維持するために必要である。E3 SUMO タンパク質リガーゼは、UBE2I による SUMO1 の結合を促進する (PubMed:12679040)。p53/TP53 転写共役因子である HNRNPK の SUMO 化に関与し、間接的に p53/TP53 の転写活性化を制御し、p21/CDKN1A の発現をもたらす。ZNF131 をモノ SUMO 化する (PubMed:22825850)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



293T 細胞溶解物中の CBX4 発現のウェスタン ブロット分析。